



前生徒会長 矢野翔さんが語る 私たちの学校



今年で創立70周年を迎えた大三島分校は、全校生徒73人の島の小さな学校です。大三島分校には、生徒にも教員にも名札がありません。全ての生徒・教員が当たり前のようにお互いの顔と名前を覚えているからです。先生も生徒も家族のように仲が良く、島ののどかな雰囲気の中で、みんながとても充実した高校生活を送っています。

学校のすぐ裏には海があります。そんな絶好のロケーションを生かし、県内で唯一マリンスポーツが行われています。

また、今夏の高校野球では、全校生徒が一丸となって熱い応援を繰り広げ、16年ぶりに初戦を突破、勢いに乗ってベスト16まで勝ち進みました。

さらには、写真部が念願の「第25回全国高校写真選手権大会(写真甲子園2018)」に選抜枠で初出場を果たし、全国の強豪校と腕を競い合いました。

テニス部は四国大会、卓球部、陸上部、ボート部、音

楽部も県大会で活躍するなど、それぞれの部が熱心に活動しています。

また、大山祇神社参道のボランティアガイドを始め、パンフレット作成などさまざまな地域活性化活動にも全校生徒一丸となって熱心に取り組んでいます。

大三島分校は、日本一忙しい高校だとよく言われます。少人数だからこそ一人一人が手を抜かず、全員が頑張らなければ学校は回りません。少人数だからこそ、一人一人に居場所があり、一人一人が輝く学校、それが大三島分校です。そんな私たちの愛すべき分校も生徒数の減少から存続の危機に立たされています。

分校は他の高校にはない魅力のあふれる素晴らしい学校です。一人でも多くの方が分校に入学してくれることで、私たちの大切な分校がこれからもずっと続いてほしい、それが私たち分校生全員の願いです。

私たちと一緒に充実した楽しい高校生活を送りませんか。